



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年2月8日

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ

上場取引所 東

コード番号 3774 URL <https://www.ij.ad.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝 栄二郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 渡井 昭久 TEL (03)5205-6500

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	165,600	6.1	16,298	60.9	17,597	90.7	11,623	95.5	11,522	96.1	13,774	81.7
2021年3月期第3四半期	156,070	3.6	10,127	67.1	9,227	64.5	5,946	69.8	5,877	75.2	7,582	36.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	127.61	127.00
2021年3月期第3四半期	65.16	64.84

(注)当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。そのため、基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益について、当該株式分割が前連結会計年度期首に行われたと仮定して、算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	224,599	100,992	99,926	44.5
2021年3月期	220,777	90,972	89,956	40.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.50	—	19.50	—
2022年3月期	—	23.00	—		
2022年3月期(予想)				23.00	46.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2021年3月期の第2四半期末配当金は当該株式分割前の数値であり、分割後の株数で計算した場合、第2四半期末配当金は1株当たり10.25円となり年間配当金は1株当たり29.75円となります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	228,500	7.3	22,000	54.4	21,500	53.2	13,700	41.1	151.72

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2022年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期 3Q	93,534,800株	2021年3月期	93,469,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期 3Q	3,221,667株	2021年3月期	3,263,532株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期 3Q	90,290,511株	2021年3月期 3Q	90,191,724株

(注)当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、上記の期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度期首に行われたと仮定して、算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想は、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通し数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- (2) その他

決算説明会プレゼンテーション資料は、TDnetにて2022年2月8日(火)に開示し、併せて当社ホームページへも掲載する予定です。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 8
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 9
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 9
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 9
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 10
(1) 要約四半期連結財政状態計算書(未監査)	P. 10
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)	P. 12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)	P. 16
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)	P. 18
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)	P. 20
(継続企業の前提に関する注記)	P. 20
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 20
(セグメント情報)	P. 20
(重要な後発事象)	P. 20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当四半期(2022年3月期第3四半期)の連結業績の概況

当四半期における国内景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中、持ち直しの動きがみられました。先行きにつきましては、経済社会活動が正常化に向かう中、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの継続が期待されますが、供給面での制約や新たな変異株による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

そのような景気動向の中、当社グループが主にかかわる法人ICT^(※1)関連市場では、企業及び官公庁のITサービスの利用拡大を背景としたインターネットトラフィック^(※2)の継続増加、インターネット上の脅威に対抗するセキュリティ関連サービスの重要性の高まり、クラウドコンピューティング^(※3)関連サービスの順次普及、それらサービスを総合的に利用するIoT^(※4)の実用化の進展等により、今後も信頼性の高いネットワークシステムへの需要増加が継続していくものと想定しております。

このような市場環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間において、ネットワークサービス分野では、コロナ禍を契機とした企業のIT利用進展に伴い、IPサービス^(※5)、セキュリティ関連サービス及び法人向けモバイルサービス等の法人向けネットワークサービス群の売上増加が強まり、営業利益の増加を牽引いたしました。個人向けモバイル関連サービスは、4月に提供開始の「ギガプラン^(※6)」等での調達コスト低下に応じた平均販売単価低下による減収影響は継続するものの、契約回線数は四半期毎での純増基調が継続しております。システムインテグレーション分野では、ネットワークインテグレーションの需要が活況で、システム構築の売上高及び受注額は各々前年同期比12.6%増及び10.7%増となりました。システム運用保守売上高も、継続したシステム運用保守案件の積上げに加え、マルチクラウド^(※7)需要等によるクラウドコンピューティング関連サービス売上高の伸長もあり、前年同期比15.1%増と順調に伸びました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきまして、総売上高は、前年同期比6.1%増の165,600百万円(前年同期 156,070百万円)となりました。売上原価は前年同期比1.2%増の128,816百万円(前年同期 127,273百万円)となり、売上総利益は前年同期比27.7%増の36,784百万円(前年同期 28,797百万円)となりました。内訳といたしまして、ネットワークサービスの売上高は前年同期比1.2%増の95,097百万円(前年同期 93,983百万円)、売上総利益は前年同期比33.7%増の26,444百万円(前年同期 19,782百万円)となりました。システムインテグレーションの売上高は前年同期比14.2%増の68,413百万円(前年同期 59,927百万円)、売上総利益は前年同期比15.6%増の9,544百万円(前年同期 8,255百万円)となりました。そのうち、4月に買収し完全子会社化した、シンガポールの PTC SYSTEM(S) PTE LTD(以下、「PTC」という。)の売上高は5,301百万円、売上総利益は588百万円でありました。ATM運営事業の売上高は前年同期比3.2%減の2,090百万円(前年同期 2,160百万円)、売上総利益は前年同期比4.8%増の796百万円(前年同期 760百万円)となりました。販売管理費等(販売費及び一般管理費、その他の収益及びその他の費用の合計)は前年同期比9.7%増の20,486百万円(前年同期 18,670百万円)となり、営業利益は前年同期比60.9%増の16,298百万円(前年同期 10,127百万円)となりました。税引前四半期利益は、前年同期比90.7%増の17,597百万円(前年同期 9,227百万円)となりました。(株)ディーカレットホールディングス^(※8)の暗号資産事業売却に係る持分法損失の増加がありましたが、ファンドに係る金融資産評価益の増加が吸収しました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比96.1%増の11,522百万円(前年同期 5,877百万円)となりました。

用語集

(※1) ICT: Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。

(※2) インターネットトラフィック: インターネットを通じて転送されるデータ流量のこと。

(※3) クラウドコンピューティング: コンピュータの機能や処理能力、ソフトウェア、データ等をインターネット経由で利用すること。

(※4) IoT: Internet of Thingsの略。モノのインターネットと言われ、これまでインターネットに接続されていなかった物体に通信機能を持たせることで、物体が情報通信を行うようになること。

(※5) IPサービス: 当社の提供する、フルスペックの法人向け専用線型インターネット接続サービス。

(※6) ギガプラン: 当社が2021年4月1日より提供開始した、個人向けモバイルサービスの新料金プラン。

(※7) マルチクラウド: Amazon Web ServicesやMicrosoft Azureなどの異なる事業者のクラウドサービスを複数併用すること。

(※8) (株)ディーカレットホールディングス: 2021年12月27日に(株)ディーカレットによる株式移転により設立された持株会社で、当社の持分法適用関連会社。

②経営成績の分析

当社グループの売上収益の大部分は「ネットワークサービス及びSI事業」からのものであり、役務別の分析により記載しております。

<連結業績サマリー>

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
売上収益合計	156,070	165,600	6.1
ネットワークサービス売上高	93,983	95,097	1.2
システムインテグレーション売上高(注)1	59,927	68,413	14.2
ATM運営事業売上高	2,160	2,090	△3.2
売上原価合計	△ 127,273	△ 128,816	1.2
ネットワークサービス売上原価	△ 74,201	△ 68,653	△7.5
システムインテグレーション売上原価(注)1	△ 51,672	△ 58,869	13.9
ATM運営事業売上原価	△ 1,400	△ 1,294	△7.6
売上総利益合計	28,797	36,784	27.7
ネットワークサービス売上総利益	19,782	26,444	33.7
システムインテグレーション売上総利益(注)1	8,255	9,544	15.6
ATM運営事業売上総利益	760	796	4.8
販売管理費等(注)2	△ 18,670	△ 20,486	9.7
営業利益	10,127	16,298	60.9
税引前四半期利益	9,227	17,597	90.7
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5,877	11,522	96.1

(注) 1. システムインテグレーションには機器販売を含んでおります。

2. 販売費及び一般管理費(含む研究開発費)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載しております。

<セグメント情報サマリー>

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結売上収益	156,070	165,600
ネットワークサービス及びSI事業	154,039	163,606
ATM運営事業	2,160	2,090
セグメント間取引消去	△ 129	△ 96
連結営業利益	10,127	16,298
ネットワークサービス及びSI事業	9,603	15,747
ATM運営事業	616	617
セグメント間取引消去	△ 92	△ 66

i) 売上収益

当第3四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比6.1%増の165,600百万円(前年同期 156,070百万円)となりました。

＜ネットワークサービス売上高＞

法人向けインターネット接続サービスの売上高は、IPサービス及び法人IoT等用途向け法人モバイルサービス等が増加したものの、調達コスト低下に応じたIIJモバイルMVNOプラットフォームサービスの減収影響があり、前年同期比5.4%減の28,082百万円(前年同期 29,699百万円)となりました。

個人向けインターネット接続サービスの売上高は、個人向けモバイルサービスにおいて新サービスによる平均販売単価低下の影響等があり、前年同期比8.3%減の17,780百万円(前年同期 19,390百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、セキュリティ関連サービス売上高等の増加があり、前年同期比13.5%増の29,831百万円(前年同期 26,289百万円)となりました。

WANサービスの売上高は、前年同期比4.3%増の19,404百万円(前年同期 18,605百万円)となりました。

これらの結果、ネットワークサービス売上高は、前年同期比1.2%増の95,097百万円(前年同期 93,983百万円)となりました。

ネットワークサービス売上高の内訳、法人向け及び個人向けインターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域は、それぞれ以下のとおりであります。

＜ネットワークサービス売上高の内訳＞

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
ネットワークサービス売上高合計	93,983	95,097	1.2
法人向けインターネット接続サービス	29,699	28,082	△ 5.4
IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)	8,988	10,069	12.0
IIJモバイルサービス	18,034	15,132	△ 16.1
法人IoT等用途向け直接提供	5,513	7,516	36.3
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	12,521	7,616	△ 39.2
その他	2,677	2,881	7.6
個人向けインターネット接続サービス	19,390	17,780	△ 8.3
IIJmioモバイルサービス	17,363	15,555	△ 10.4
その他	2,027	2,225	9.8
アウトソーシングサービス	26,289	29,831	13.5
WANサービス	18,605	19,404	4.3

＜インターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域＞(注)1

	前第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日現在)	増減
法人向けインターネット接続サービス契約数合計	2,258,371	2,394,237	135,866
IPサービス(1 Gbps以上) (注)2	782	751	△ 31
IPサービス(1 Gbps未満) (注)2	1,225	1,206	△ 19
IIJモバイルサービス	2,165,723	2,302,538	136,815
法人IoT等用途向け直接提供	1,046,470	1,319,918	273,448
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	1,119,253	982,620	△ 136,633
その他	90,641	89,742	△ 899
個人向けインターネット接続サービス回線数合計	1,380,594	1,419,277	38,683
IIJmioモバイルサービス	1,037,227	1,072,920	35,693
その他	343,367	346,357	2,990
	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向けインターネット接続サービス契約総帯域 (注)3	6,021.9	7,346.5	1,324.6

- (注) 1. 法人向けインターネット接続サービス及び個人向けインターネット接続サービスの内訳において、「IIJモバイルサービス」及び「IIJmioモバイルサービス」は回線数を表示しており、それ以外は契約数を表示しております。
2. IPサービスには、インターネットデータセンター接続サービスが含まれます。
3. 法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じることにより算出しております。

＜システムインテグレーション売上高＞

システム構築及び機器販売による一時的な売上高は、前年同期比12.6%増の24,415百万円(前年同期 21,687百万円)となりました。このうち、PTCに係る売上高は3,714百万円でありました。

システム運用保守による継続的な売上高は、システム運用保守案件の継続積み上げ及びプライベートクラウドサービスの売上高増加等があり、前年同期比15.1%増の43,998百万円(前年同期 38,240百万円)となりました。このうち、PTCの売上高は1,587百万円でありました。

これらの結果、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は、前年同期比14.2%増の68,413百万円(前年同期 59,927百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注は、前年同期比6.2%増の69,910百万円(前年同期 65,821百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注は前年同期比10.7%増の26,501百万円(前年同期 23,943百万円)、システム運用保守に関する受注は前年同期比3.7%増の43,409百万円(前年同期 41,878百万円)でありました。

当第3四半期連結会計期間末のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注残高は、前年同期末比10.4%増の68,151百万円(前年同期末 61,758百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注残高は前年同期末比15.3%増の11,254百万円(前年同期末 9,763百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期末比9.4%増の56,897百万円(前年同期末 51,995百万円)でありました。

＜ATM運営事業売上高＞

ATM運営事業売上高は、前年同期比3.2%減の2,090百万円(前年同期 2,160百万円)となりました。

ii) 売上原価

当第3四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比1.2%増の128,816百万円(前年同期 127,273百万円)となりました。

＜ネットワークサービス売上原価＞

ネットワークサービスの売上原価は、前年同期比7.5%減の68,653百万円(前年同期 74,201百万円)となりました。モバイル関連サービスの費用において、期初からの音声仕入れ単価の低下と第3四半期における(株)NTTドコモによるモバイル接続料の2020年度実績に基づく単価確定による原価戻りがありました。ネットワークサービスの売上総利益は、前年同期比33.7%増の26,444百万円(前年同期 19,782百万円)となり、ネットワークサービスの売上総利益率は27.8%(前年同期 21.0%)となりました。

＜システムインテグレーション売上原価＞

システムインテグレーション(含む機器販売)の売上原価は、外注関連費用及び仕入の増加等があり、前年同期比13.9%増の58,869百万円(前年同期 51,672百万円)となりました。このうち、PTCに係る売上原価は4,713百万円でありました。機器販売を含むシステムインテグレーションの売上総利益は、前年同期比15.6%増の9,544百万円(前年同期 8,255百万円)となり、売上総利益率は13.9%(前年同期 13.8%)となりました。

＜ATM運営事業売上原価＞

ATM運営事業売上原価は、前年同期比7.6%減の1,294百万円(前年同期 1,400百万円)となりました。売上総利益は、796百万円(前年同期 760百万円)となり、売上総利益率は38.1%(前年同期 35.2%)となりました。

iii) 販売管理費等

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は、主として人件関連費用、広告宣伝費及び販売手数料等の増加等により、前年同期比11.8%増の20,494百万円(前年同期 18,328百万円)となりました。このうち、PTCに係る販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は329百万円でありました。

その他の収益は125百万円(前年同期 113百万円)となりました。その他の費用は主として固定資産除却損により117百万円(前年同期 455百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第3四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比60.9%増の16,298百万円(前年同期 10,127百万円)となりました。

v) 金融収益、金融費用及び持分法による投資損益

当第3四半期連結累計期間における金融収益は、主としてファンドに係る金融資産評価益2,560百万円(前年同期 192百万円の評価益)等により、2,756百万円(前年同期 317百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における金融費用は、支払利息401百万円(前年同期 440百万円)等により、401百万円(前年同期 490百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における持分法による投資損益は、2022年2月1日付での暗号資産事業売却に関連する損失認識484百万円を含む(株)ディーカレットホールディングスに係る持分法損失1,332百万円があり、1,056百万円の損失(前年同期727百万円の損失)となりました。

vi) 税引前四半期利益

当第3四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、前年同期比90.7%増の17,597百万円(前年同期 9,227百万円)となりました。

vii) 四半期利益

当第3四半期連結累計期間における法人所得税費用は、5,974百万円の費用(前年同期 3,281百万円の費用)となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における四半期利益は、前年同期比95.5%増の11,623百万円(前年同期 5,946百万円)となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、(株)トラストネットワークスに係る利益等により101百万円(前年同期 69百万円)となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比96.1%増の11,522百万円(前年同期 5,877百万円)となりました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債及び株主資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比3,821百万円増加し、224,599百万円(前連結会計年度末220,777百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末比1,166百万円増加し、94,571百万円(前連結会計年度末93,405百万円)となり、主な増減及び残高の内訳は、PTC買収の支出等による現金及び現金同等物1,507百万円減少の40,960百万円、営業債権3,049百万円減少の31,750百万円、前払費用3,157百万円増加(うち、PTC子会社化に伴う増加1,369百万円)の13,755百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動資産は、前連結会計年度末比2,655百万円増加し、130,028百万円(前連結会計年度末127,373百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、有形固定資産525百万円増加の17,609百万円、使用権資産(オフィス、データセンター等の賃借契約及び通信機器等のリース契約の利用権)の償却等による6,298百万円減少の44,410百万円、のれんはPTC子会社化に係る3,153百万円増加の9,236百万円、持分法で会計処理されている投資は主として(株)ディーカレットホールディングスに係る損失による1,127百万円減少の7,900百万円(株)ディーカレットホールディングスに係るのれん相当額1,181百万円を含む)、長期前払費用1,270百万円増加(うち、PTC子会社化に伴う増加1,075百万円)の10,807百万円、その他の投資は保有上場株式及びファンドの時価評価等による5,695百万円増加の18,608百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比1,238百万円減少し、72,021百万円(前連結会計年度末73,259百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、営業債務及びその他の債務223百万円増加の19,467百万円、借入金2,190百万円減少(うち短期借入金の増加1,480百万円、長期借入金の返済による減少5,170百万円及び非流動負債からの振替1,500百万円)の16,370百万円、契約負債1,904百万円増加(うち、PTC子会社化に伴う増加1,571百万円)の9,006百万円、その他の金融負債1,057百万円減少の16,822百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動負債は前連結会計年度末比4,961百万円減少し、51,586百万円(前連結会計年度末56,547百万円)となり、主な残高及び増減の内訳は、借入金は流動負債への振替で1,500百万円減少の5,500百万円、契約負債は209百万円増加の7,453百万円(うち、PTC子会社化に伴う増加1,215百万円)、その他の金融負債は流動負債への振替等で4,934百万円減少の30,714百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分の額は、前連結会計年度末比9,970百万円増加の99,926百万円(前連結会計年度末89,956百万円)、親会社の所有者に帰属する持分比率は44.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、40,960百万円(前年同期末41,970百万円)となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益17,597百万円、減価償却費及び償却費21,088百万円(うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る使用権資産の減価償却費8,643百万円)、法人所得税の支払い5,680百万円(前年同期3,928百万円)に対して、営業債務及びその他の債務等の減少による支出増が営業債権の減少等の収入増を上回り、営業資産及び負債の増減は1,298百万円の支出(前年同期3,526百万円の収入)となり、30,370百万円の収入(前年同期31,399百万円の収入)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による4,893百万円の支出(前年同期4,555百万円の支出)、ソフトウェア等の無形資産の取得による3,627百万円の支出(前年同期3,722百万円の支出)、PTCの取得に関する支出2,612百万円(取得現金控除後)、主としてセールアンドリースバック取引で有形固定資産の売却による収入1,776百万円(前年同期1,859百万円の収入)等があり、9,832百万円の支出(前年同期8,918百万円の支出)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、本社オフィス等のオペレーティング・リース及びネットワーク機器等のファイナンス・リースの支払等によるその他の金融負債の支払14,665百万円(前年同期15,252百万円)、長期借入金の返済5,170百万円(前年同期1,830百万円)、配当金の支払い3,836百万円(前年同期1,533百万円)、短期借入金の増加1,480百万円(前年同期360百万円の減少)等があり、22,240百万円の支出(前年同期19,031百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上収益及び利益の規模は、季節要因にて、第4四半期に大きくなる傾向があります。当第3四半期連結累計期間の利益は、2021年11月5日に修正した連結業績予想における想定を上回り推移しておりますが、通期見通しに対する業績寄与は第4四半期によるところが大きく、2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書 (未監査)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日現在)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,466,933	40,960,126
営業債権	34,799,075	31,749,868
棚卸資産	2,171,046	2,381,308
前払費用	10,598,441	13,755,260
契約資産	1,281,918	2,696,819
その他の金融資産	1,975,910	2,714,757
その他の流動資産	111,334	312,834
流動資産合計	93,404,657	94,570,972
非流動資産		
有形固定資産	17,084,401	17,609,118
使用権資産	50,707,726	44,410,026
のれん	6,082,472	9,235,576
無形資産	16,954,274	16,523,124
持分法で会計処理されている投資	9,026,980	7,900,167
前払費用	9,537,160	10,806,811
契約資産	46,638	73,609
その他の投資	12,912,483	18,607,957
繰延税金資産	143,337	201,472
その他の金融資産	4,442,704	4,170,129
その他の非流動資産	434,437	489,696
非流動資産合計	127,372,612	130,027,685
資産合計	220,777,269	224,598,657

	前連結会計年度末 (2021年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日現在)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	19,243,800	19,466,839
借入金	18,560,000	16,370,000
未払法人所得税	3,012,415	3,473,642
契約負債	7,101,821	9,005,816
繰延収益	79,914	66,587
その他の金融負債	17,879,331	16,822,261
その他の流動負債	7,381,746	6,816,151
流動負債合計	73,259,027	72,021,296
非流動負債		
借入金	7,000,000	5,500,000
退職給付に係る負債	4,168,575	4,500,468
引当金	756,405	785,521
契約負債	7,244,411	7,453,367
繰延収益	405,579	355,843
繰延税金負債	225,469	1,091,934
その他の金融負債	35,647,899	30,713,989
その他の非流動負債	1,098,253	1,184,482
非流動負債合計	56,546,591	51,585,604
負債合計	129,805,618	123,606,900
資本		
資本金	25,530,621	25,561,838
資本剰余金	36,388,811	36,467,018
利益剰余金	25,046,813	32,732,212
その他の資本の構成要素	4,865,110	7,016,020
自己株式	△1,874,976	△1,850,924
親会社の所有者に帰属する持分合計	89,956,379	99,926,164
非支配持分	1,015,272	1,065,593
資本合計	90,971,651	100,991,757
負債及び資本合計	220,777,269	224,598,657

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 (未監査)

要約四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2020 年 4 月 1 日 至 2020 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2021 年 4 月 1 日 至 2021 年 12 月 31 日)
	千円	千円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	93,983,677	95,097,043
システムインテグレーション売上高	59,926,698	68,412,716
ATM運営事業売上高	2,159,738	2,089,962
売上収益合計	156,070,113	165,599,721
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△74,201,460	△68,652,357
システムインテグレーション売上原価	△51,671,863	△58,869,195
ATM運営事業売上原価	△1,400,165	△1,294,143
売上原価合計	△127,273,488	△128,815,695
売上総利益	28,796,625	36,784,026
販売費及び一般管理費	△18,327,863	△20,493,325
その他の収益	113,091	124,732
その他の費用	△454,357	△117,025
営業利益	10,127,496	16,298,408
金融収益	317,146	2,755,446
金融費用	△490,797	△400,686
持分法による投資損益	△726,857	△1,056,499
税引前四半期利益	9,226,988	17,596,669
法人所得税費用	△3,281,332	△5,973,854
四半期利益	5,945,656	11,622,815
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,876,784	11,521,612
非支配持分	68,872	101,203
四半期利益	5,945,656	11,622,815
1 株当たり四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益 (円)	65.16	127.61
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (円)	64.84	127.00

※当社は、2021 年 1 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的 1 株当たり四半期利益及び希薄化後 1 株当たり四半期利益を算定しております。

第 3 四半期連結会計期間

	前第 3 四半期連結会計期間 (自 2020年10月 1 日 至 2020年12月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自 2021年10月 1 日 至 2021年12月31日)
	千円	千円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	31,879,433	31,660,876
システムインテグレーション売上高	21,760,024	24,203,456
ATM運営事業売上高	765,666	681,502
売上収益合計	54,405,123	56,545,834
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△24,305,137	△21,898,824
システムインテグレーション売上原価	△18,281,933	△20,529,193
ATM運営事業売上原価	△476,046	△419,132
売上原価合計	△43,063,116	△42,847,149
売上総利益	11,342,007	13,698,685
販売費及び一般管理費	△6,203,679	△6,703,629
その他の収益	32,677	32,254
その他の費用	△282,558	△33,194
営業利益	4,888,447	6,994,116
金融収益	349,379	983,034
金融費用	△163,377	△128,374
持分法による投資損益	△313,322	△683,954
税引前四半期利益	4,761,127	7,164,822
法人所得税費用	△1,625,064	△2,499,657
四半期利益	3,136,063	4,665,165
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,106,856	4,629,856
非支配持分	29,207	35,309
四半期利益	3,136,063	4,665,165
1 株当たり四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益 (円)	34.44	51.26
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (円)	34.27	51.02

※当社は、2021年 1 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的 1 株当たり四半期利益及び希薄化後 1 株当たり四半期利益を算定しております。

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	千円	千円
四半期利益	5,945,656	11,622,815
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	1,737,941	1,886,924
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,737,941	1,886,924
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△80,184	245,087
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	236	△212
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△22,038	19,111
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△101,986	263,986
その他の包括利益合計(税引後)	1,635,955	2,150,910
四半期包括利益	7,581,611	13,773,725
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,512,739	13,672,522
非支配持分	68,872	101,203
四半期包括利益	7,581,611	13,773,725

第3四半期連結会計期間

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
	千円	千円
四半期利益	3,136,063	4,665,165
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	177,294	△121,254
純損益に振り替えられることのない項目合計	177,294	△121,254
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△37,415	227,177
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	17	△335
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△10,939	5,969
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△48,337	232,811
その他の包括利益合計 (税引後)	128,957	111,557
四半期包括利益	3,265,020	4,776,722
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,235,813	4,741,413
非支配持分	29,207	35,309
四半期包括利益	3,265,020	4,776,722

(3) 要約四半期連結持分変動計算書 (未監査)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	25,530,621	36,271,395	16,500,993	2,669,501	△1,896,921	79,075,589
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	5,876,784	—	—	5,876,784
その他の包括利益	—	—	—	1,635,955	—	1,635,955
四半期包括利益合計	—	—	5,876,784	1,635,955	—	7,512,739
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△140	△140
自己株式の処分	—	52,917	—	—	21,949	74,866
配当金	—	—	△1,533,237	—	—	△1,533,237
株式報酬取引	—	47,907	—	—	—	47,907
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	251,849	△251,849	—	—
所有者との取引額合計	—	100,824	△1,281,388	△251,849	21,809	△1,410,604
2020年12月31日時点の残高	25,530,621	36,372,219	21,096,389	4,053,607	△1,875,112	85,177,724

	非支配 持分	資本合計
	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	981,528	80,057,117
四半期包括利益		
四半期利益	68,872	5,945,656
その他の包括利益	—	1,635,955
四半期包括利益合計	68,872	7,581,611
所有者との取引額		
自己株式の取得	—	△140
自己株式の処分	—	74,866
配当金	△55,832	△1,589,069
株式報酬取引	—	47,907
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—
所有者との取引額合計	△55,832	△1,466,436
2020年12月31日時点の残高	994,568	86,172,292

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2021年4月1日時点の残高	25,530,621	36,388,811	25,046,813	4,865,110	△1,874,976	89,956,379
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	11,521,612	—	—	11,521,612
その他の包括利益	—	—	—	2,150,910	—	2,150,910
四半期包括利益合計	—	—	11,521,612	2,150,910	—	13,672,522
所有者との取引額						
新株の発行	31,217	△31,152	—	—	—	65
自己株式の処分	—	53,252	—	—	24,052	77,304
配当金	—	—	△3,836,213	—	—	△3,836,213
株式報酬取引	—	60,772	—	—	—	60,772
その他	—	△4,665	—	—	—	△4,665
所有者との取引額合計	31,217	78,207	△3,836,213	—	24,052	△3,702,737
2021年12月31日時点の残高	25,561,838	36,467,018	32,732,212	7,016,020	△1,850,924	99,926,164

	非支配 持分	資本合計
	千円	千円
2021年4月1日時点の残高	1,015,272	90,971,651
四半期包括利益		
四半期利益	101,203	11,622,815
その他の包括利益	—	2,150,910
四半期包括利益合計	101,203	13,773,725
所有者との取引額		
新株の発行	—	65
自己株式の処分	—	77,304
配当金	△48,550	△3,884,763
株式報酬取引	—	60,772
その他	△2,332	△6,997
所有者との取引額合計	△50,882	△3,753,619
2021年12月31日時点の残高	1,065,593	100,991,757

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,226,988	17,596,669
調整		
減価償却費及び償却費	21,093,793	21,088,271
固定資産除売却損益(△は益)	432,101	98,131
持分法による投資損益(△は益)	726,857	1,056,499
金融収益	△283,369	△2,775,941
金融費用	538,117	400,558
その他	332,913	112,260
営業資産及び負債の増減		
営業債権の増減額(△は増加)	2,753,953	4,276,673
棚卸資産の増減額(△は増加)	132,323	△207,824
前払費用の増減額(△は増加)	△1,977,177	△2,114,135
契約資産の増減額(△は増加)	△2,795,705	△1,441,872
その他の資産の増減額(△は増加)	△151,013	△102,481
その他の金融資産の増減額(△は増加)	△100,592	△563,027
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	2,820,693	△606,165
契約負債の増減額(△は減少)	1,501,364	△562,142
繰延収益の増減額(△は減少)	△62,159	△7,976
その他の負債の増減額(△は減少)	666,159	△1,152,042
その他の金融負債の増減額(△は減少)	472,422	851,200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	266,119	331,893
小計	35,593,787	36,278,549
利息及び配当金の受取額	172,300	170,291
利息の支払額	△438,861	△398,439
法人所得税の支払額	△3,928,124	△5,680,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,399,102	30,370,131

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	千円	千円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,555,236	△4,893,366
有形固定資産の売却による収入	1,859,157	1,776,241
無形資産の取得による支出	△3,722,346	△3,626,997
無形資産の売却による収入	44,085	189
子会社の取得による支出	—	△2,612,008
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△2,754,000	—
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	60,637	—
その他の投資の取得による支出	△113,076	△573,680
その他の投資の売却による収入	462,547	103,618
敷金及び保証金の差入による支出	△180,311	△91,284
敷金及び保証金の回収による収入	25,986	140,825
積立保険料の支払	△50,043	△56,172
その他	4,695	273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,917,905	△9,832,361
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,830,000	△5,170,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△360,000	1,480,000
その他の金融負債の支払	△15,252,049	△14,664,925
配当金の支払額	△1,533,237	△3,836,213
その他	△55,832	△48,486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,031,118	△22,239,624
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△151,393	195,047
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,298,686	△1,506,807
現金及び現金同等物の期首残高	38,671,734	42,466,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,970,420	40,960,126

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、主として、インターネット接続サービス、WANサービス、アウトソーシングサービス等から構成されるネットワークサービスとシステムインテグレーションサービスを複合して提供することによって、顧客のニーズに応じた包括的なソリューションの提供を行うネットワークサービス及びSI事業と、ATM運営事業を行っております。したがって、当社グループは「ネットワークサービス及びSI事業」、「ATM運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	報告セグメント		調整額	要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業		
	千円	千円	千円	千円
売上収益				
外部顧客からの売上収益	153,910,375	2,159,738	—	156,070,113
セグメント間の売上収益	128,904	—	△128,904	—
売上収益合計	154,039,279	2,159,738	△128,904	156,070,113
セグメント営業利益	9,603,150	615,697	△91,351	10,127,496
金融収益				317,146
金融費用				△490,797
持分法による投資損益				△726,857
税引前四半期利益				9,226,988

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

	報告セグメント		調整額	要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業		
	千円	千円	千円	千円
売上収益				
外部顧客からの売上収益	163,509,759	2,089,962	—	165,599,721
セグメント間の売上収益	96,200	—	△96,200	—
売上収益合計	163,605,959	2,089,962	△96,200	165,599,721
セグメント営業利益	15,746,675	617,266	△65,533	16,298,408
金融収益				2,755,446
金融費用				△400,686
持分法による投資損益				△1,056,499
税引前四半期利益				17,596,669

セグメント間取引は、市場に基づく取引価格に依っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。